

## 第一章 一度や二度の「挫折」でくじけるな

- 01 人には「人徳」、企業には「社徳」が必要だ  
16  
02 事業の成否は「出発点の確かさ」で決まる  
18  
03 独創のためには「環境の整備」に努めよ  
20  
04 子育てと同じ忍耐力で経営せよ  
22  
05 「事業の目的」は金か世のためか  
24  
06 「悪意の競争」ではなく「善意の競争」を  
26  
07 社員を安心させてこそその企業である  
28  
08 一度や二度の「挫折」でくじけるな  
30  
09 事業は「ふさわしい人」がいてこそうまくいく  
34  
10 「わがもの」であり「他人のもの」である  
36  
11 好況に浮かれず、「好況を切り抜ける」  
32

- 12 みんなが「得」をしてこそその商売である  
38  
13 まず「根」を伸ばせ、やがて「花」が咲く  
40

## 第二章 「仕事の疲れ」は別の仕事で癒す

- 14 「仕事の疲れ」は別の仕事で癒す  
44  
15 言葉を軽んじるな、本心から語れ  
46  
16 適材適所は「自分のため」より「社会のため」に  
48  
17 人の話は手を止めて聞け  
50  
18 1つの時間には、1つのことに集中せよ  
52  
19 書いた言葉は訂正できないと心得よ  
54  
20 小事は必ずしも小事ではない  
56  
21 「日々新たに」の気持ちを大切に  
58

- 22 仕事を楽しいものに変えていけ 60  
 23 「行為」は責めても「人格」は攻撃するな 62  
 24 「結果」より「中身」で失敗への対応を考えろ 64  
 25 「叱責」はその場限り、過去を蒸し返すな 66  
 26 服従も反抗も自分の頭で考えろ 68

### 第三章 「お金」はよく集め、よく使え

- 27 「お金」はよく集め、よく使え 72  
 28 「資本の価値」は使う人で決まる 74  
 29 「お金」より大切なことがあると知れ 76  
 30 働きの「糟」ではなく働きの「中身」を見よ 78  
 31 背伸びをせず欲望は最初から慎め 80

- 32 「お金」よりまず信用を積み上げろ 82  
 33 富豪には「社会に尽くす義務」がある 84  
 34 富豪の子には財産より教育を 86  
 35 「足るを知り、分を守る」生き方を 88

### 第四章 「尊敬できる人」と働き、「善き友」と交われ

- 36 「尊敬できる人」と働き、「善き友」と交われ 92  
 37 「本当の友」は厳しい友でもある 94  
 38 「良い組織」は良い習慣から 96  
 39 「良い習慣」は早くから身につける 98  
 40 謙譲も行きすぎると卑屈になる 100  
 41 「孝行」は親がさせてくれるもの 102

- 48 47 46 45 44 43 42  
 力量に加えて人間性を磨き続ける 104  
 普段から「非常時」に備えよ 106  
 「一部」を見て「全体」が分かった気になるな  
 「晩節」を汚すな、評価は「晩年」で決まる 110  
 「名誉」には責任が伴うという自覚を 112  
 大事の判断は、「自分」を脇において考えよ 114  
 大きな決断は熟慮の上に熟慮を 116

## 第五章 「学び」は、生涯 実践してこそ価値を持つ

- 51 50 49  
 「学び」は、生涯実践してこそ価値を持つ 120  
 「学び」次第で賢者にも愚者にもなる 122  
 「志」に「言行」が伴ってこそ信頼できる 124

- 57 56 55 54 53 52  
 上手に語る人より「動き出す」人になれ 126  
 成功に必要なのは「勇氣」だ 128  
 「悪いこと」はせず、「善いこと」をせよ 130  
 よく考えろ、しかし考えすぎるな 132  
 日頃から運を迎え入れる準備をせよ 134  
 忍耐せよ、「チャンス」はやがて来る 136

## 第六章 現実に流されず 高く「理想」を掲げよ

- 61 60 59 58  
 現実に流されず高く「理想」を掲げよ 140  
 「立志」は世の風潮に流されるな 142  
 誰にも恥じない生き方を心がけよ 144  
 右手に『論語』左手に商売 146

66	65	64	63	62
				「仕事の意味」、「生きる意味」を考えろ
				「自分の利益」は後回しにせよ 150
				「金」は残さずとも、「事業」を遺す 152
				生涯を国のため世界のために 154
				生涯を懸けて慈善事業に取り組め 156

## 第七章 人を頼らず 自ら「チャンス」を掴み取れ

71	70	69	68	67
				依存しすぎるな、自信が育たなくなる
				人を頼らず自ら「チャンス」を掴み取れ 162
				愚痴を言わず「仕事を引き寄せる力」を養え
				就職は学びのスタートラインである 166
				「空想」に逃げず、「理想」にくじけるな 168
				164

73	72
	「人は見た目が9割」を意識せよ 170
	青壮年は老年者の経験に学べ 172

## 第八章 「逆境」は時を待ち くじけず乗り越えよ

80	79	78	77	76	75	74
						「逆境」はできることに集中して時機を待て
						「逆境」は2つに分けて考えよ 178
						「功名心」は大切だが囚われるな 180
						禍の種は「得意の時期」に蒔かれる 182
						夢中の時こそ立ち止まり周りを見渡せ 184
						健全な危機感を持って日々を過ごせ 186
						「成功・失敗」より道理を踏んで生きよ 188
						176